

第3回 8月 共通テスト本番レベル模試

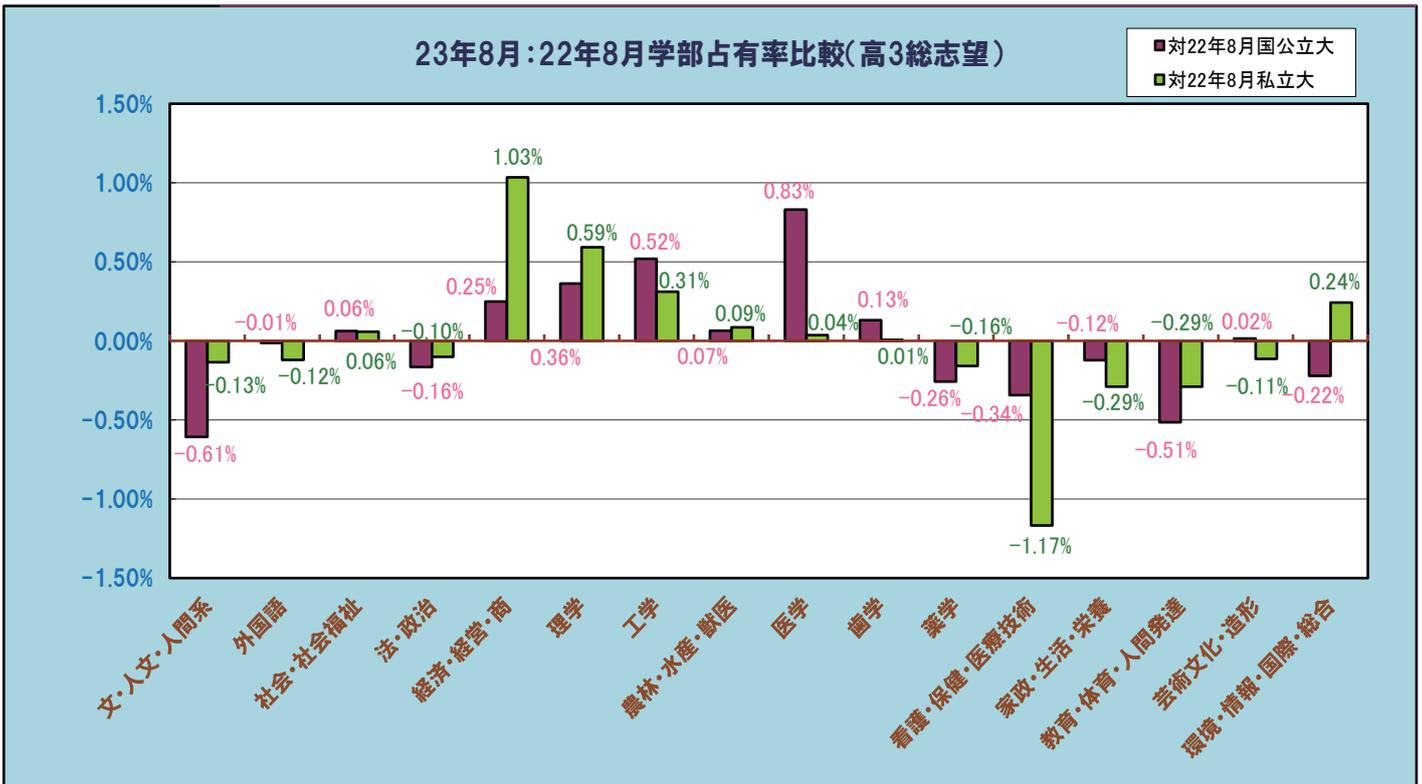
実りの秋に向けて、夏の学習を しっかりと振り返ろう！

8月20日（日）に実施した「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期の高3生の志望動向と比較した。

夏の天王山を終えようとしている今、計画通りに学習を進めることはできただろうか？

入試要項については各大学から公表されており、ほとんどの大学でコロナ禍以前の入試体制に戻る予定だが、今後の状況によっては内容に変更が生じる可能性もある。その場合、大学ホームページでの告知となるので、志望大学の入試情報はこまめにチェックしよう。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



■国公立大

文低理高の志望動向は継続しているものの、文系では経済・経営・商学系の人気が強固であり、外国語系も復調傾向にある。

一方で理系では、コロナ禍で人気を集めていた薬学系の人気に収束傾向が見られる。しかし、医学系は引き続き高い人気となっており、歯学系の人気も継続している。

■私立大

全体的な志望動向は国公立大学とほぼ同様だが、データサイエンス人材育成のニーズの高まりによる情報系学部・学科の新設ラッシュもあり、学際系の環境・情報・国際・総合系の中でも情報系の人気が高くなっている。また、国際系も復調傾向が見られる。

看護・保健・医療技術系はコロナ禍の収まりとともに、他の系統への関心も高まってきていることが、志望者減少につながっていると思われる。

【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	全体
文・人文・人間系	90	99	96
外国語	99	94	95
社会・社会福祉	103	101	101
法・政治	97	99	98
経済・経営・商	103	105	104
理学	104	111	108
工学	102	102	102
農林・水産・獣医	101	104	102
医学	110	102	108
歯学	122	104	116
薬学	93	95	94
看護・保健・医療技術	95	78	86
家政・生活・栄養	87	77	80
教育・体育・人間発達	93	93	93
芸術文化・造形	103	92	94
環境・情報・国際・総合	96	104	101
うち情報	97	109	103
うち国際	94	98	97

※このデータは、2023年と2022年の「第3回 8月 共通テスト本番レベル模試」について、大学の設置区分（国公立・私立）ごとに学部系統別の総志望者数（統一実施日受験の高3生・第6志望まで）から算出した割合を比較したものである。